

頭痛・肩こり痛・発熱に

第2類医薬品

トレル® 細粒〈分包〉

頭痛・肩こり痛・発熱に

配置明限

製法番号



6包

「アセアミノフェン」
「ロキソニン」

痛み・熱に

頭痛・肩こり痛・発熱に

第2類
医薬品

解熱鎮痛薬

トレル® 細粒〈分包〉

■効能・効果

- 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛(生理痛)・外傷痛の鎮痛
- 悪寒・発熱時の解熱

■用法・用量

- 大人(15歳以上)……………1回1包
 11歳以上15歳未満……………1回2/3包
 8歳以上11歳未満……………1回1/2包
 5歳以上8歳未満……………1回1/4包
 3歳以上5歳未満……………1回1/4包
 1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。
 服用間隔は、6時間以上おいてください。
 (3歳未満は服用しないでください)

■成分・分量 1包中

- アセトアミノフェン……………300mg
 エテンザミド……………500mg
 プロキバレルリル尿薬……………200mg
 無水カフェイン……………60mg
 添加物：ヒドロキシプロピルセルロース、パレ
 イシヨテンブシ、ステアリン酸Mg、ゲイヒ

■注意

- 次の人は服用しないでください
 (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起したことがある人。
- 服用後、寒物又は機械音の運転操作をしないでください
- 服用が過ぎない場合がありますので、服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
- 服用に際しては、説明文書をよくお読みください
- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください
- 6か月の手の届かない所に保管してください
- 配置期限を過ぎた製品は服用しないでください

ここからお出し下さい。

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931



1包(1.2g)×6包



佐藤薬品工業株式会社

奈良県橿原市観音寺町9番地の2
TEL:0744-0021
発行時間 9:00-16:30(土・日・祝日を除く)



品目番号 奈良2巻44-98
02F10

2023年1月改訂（使用上の注意の改訂による追記：下線部）

第2類医薬品

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

トシジロ[®]細粒〈分包〉の使用上の注意

⚠ 使用上の注意

⊗ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

- 次の人は服用しないでください
(1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気等があらわれることがあります。)
- 服用前後は飲酒しないでください
- 長期連用しないでください



相談すること

- 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
(4) 高齢者。
(5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(6) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

裏面もお読みください。

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
薬剤性過敏症症候群	皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

〈用法・用量に関連する注意〉

(1)用法・用量を厳守してください。(2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

保管及び取扱い上の注意

(1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。(2)小児の手の届かない所に保管してください。(3)他の容器に入れ替えないでください(誤用の原因になったり品質が変わります。)(4)1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。(5)配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。